



福島市



福島市のデジタル施策

～事業者向け～

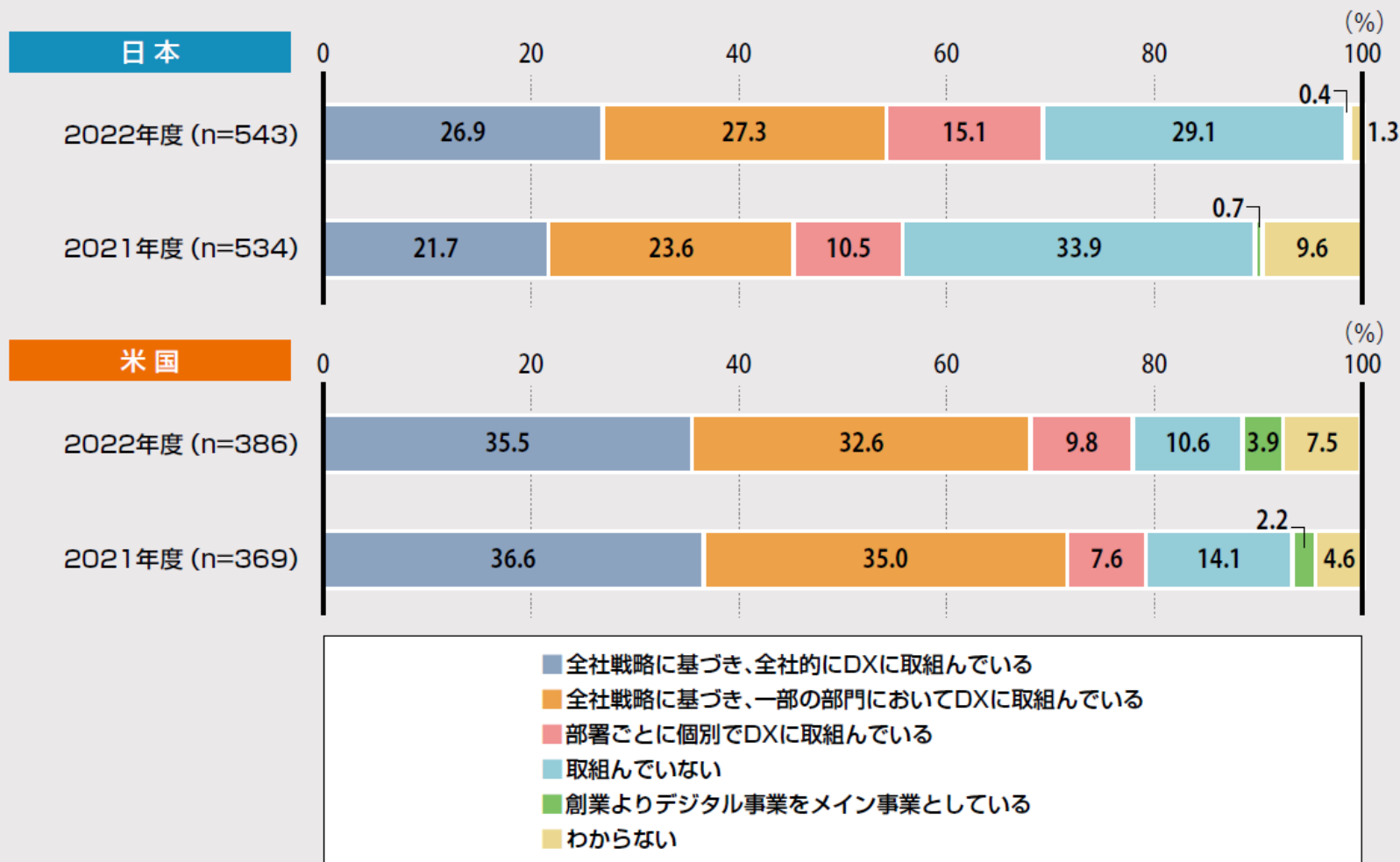
令和5年11月24日

福島市政策調整部デジタル改革室

資料編

資料編・・・なぜデジタル化が必要か①

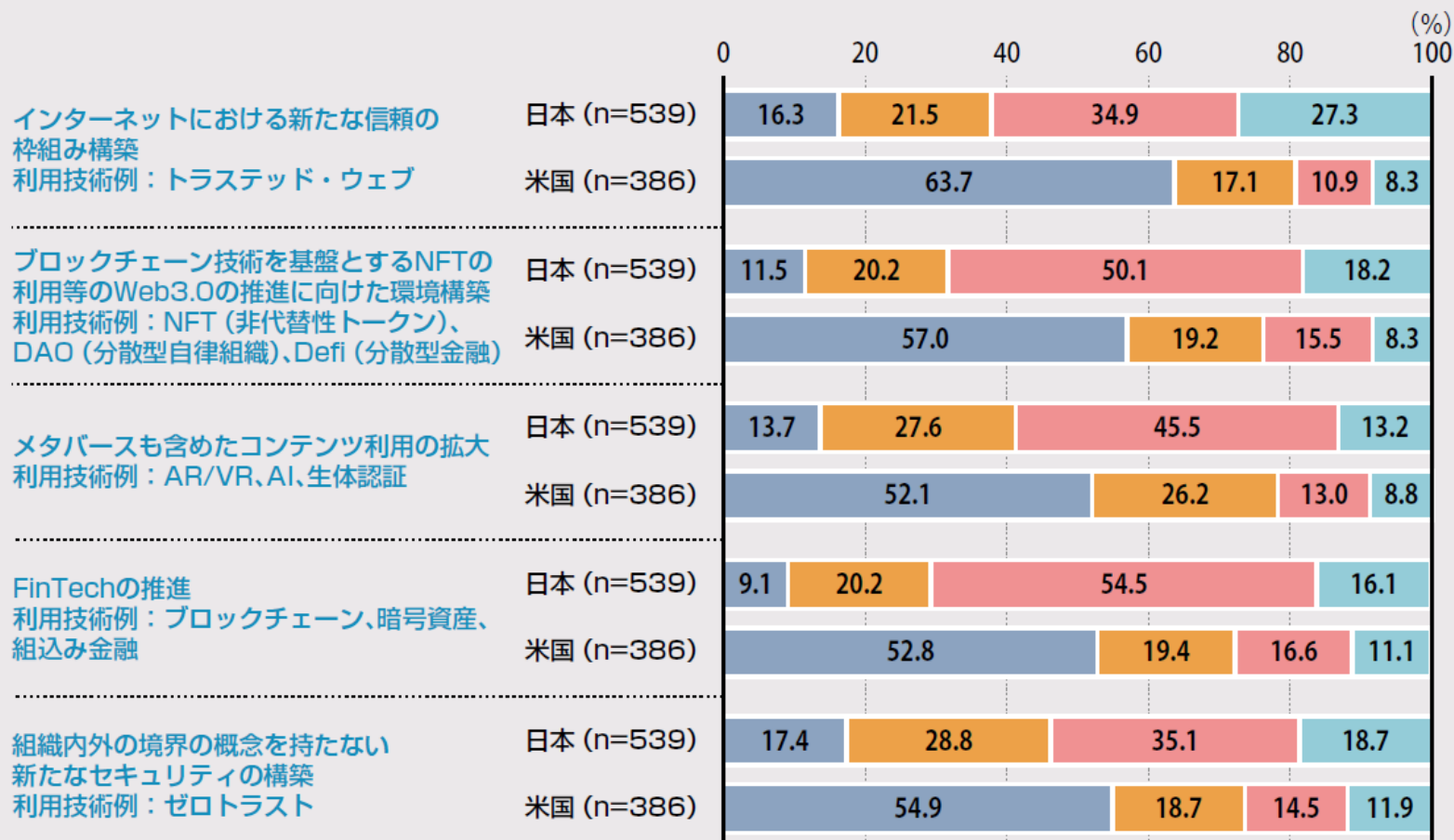
図表1-7 DXの取組状況



出典:DX白書2023:独立行政法人情報処理推進機構

資料編・・・なぜデジタル化が必要か②

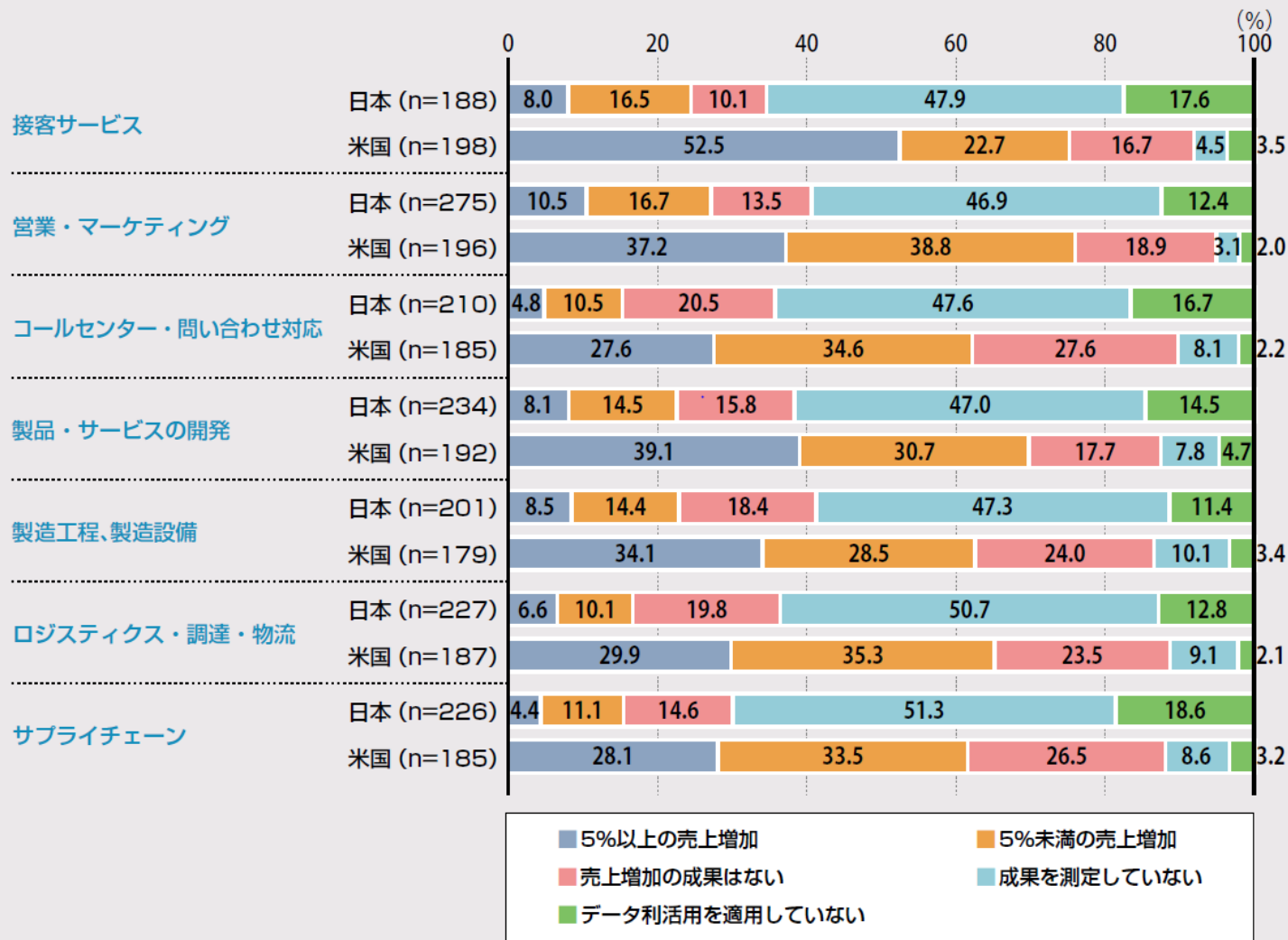
図表1-18 先進的なデジタル技術を使った新しいビジネスへの取組状況



■ 取組みを始めている ■ 取組んでいないが、検討中 ■ 取組み予定がない ■ その技術を知らない

資料編・・・なぜデジタル化が必要か③

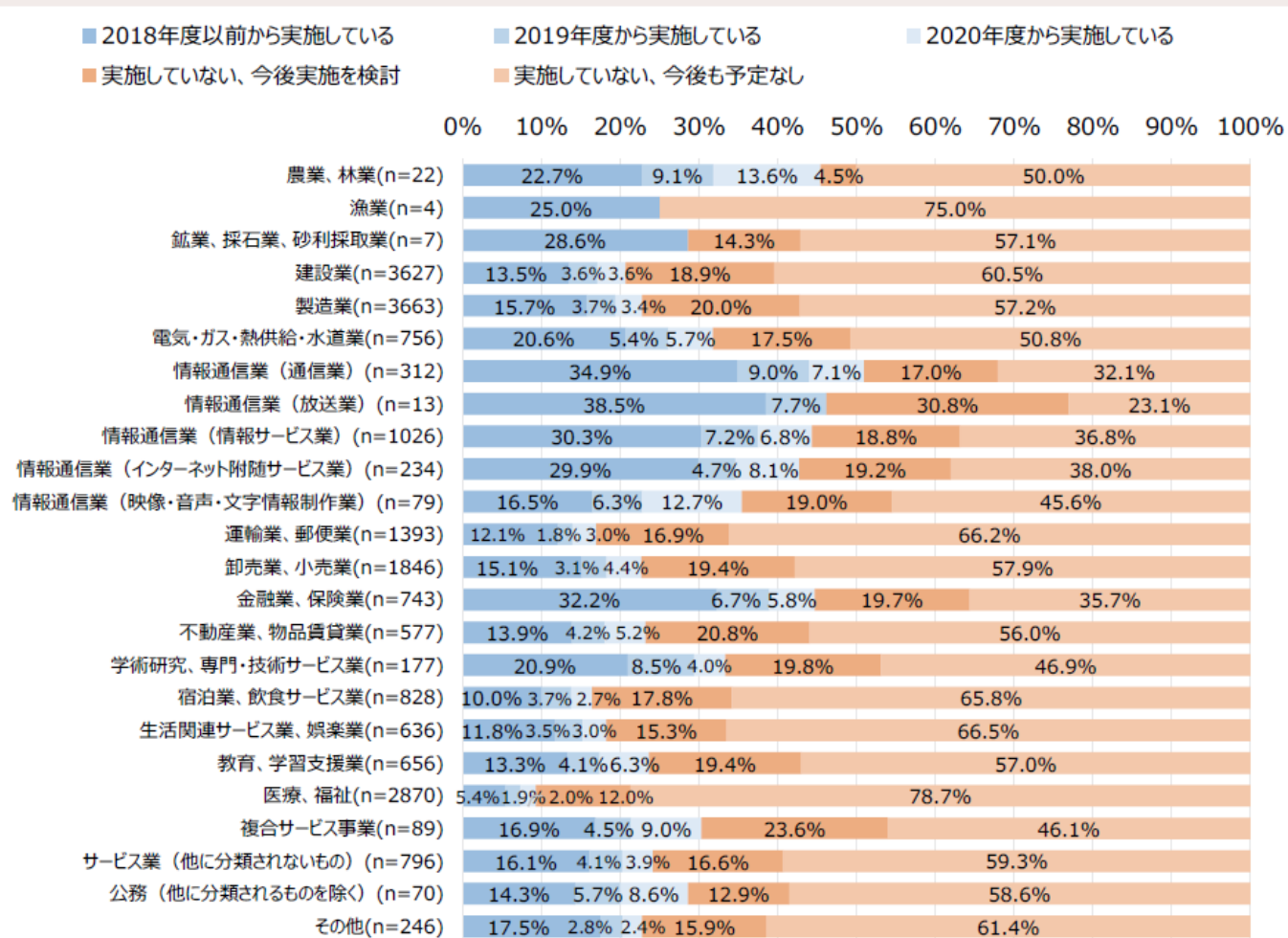
図表1-33 データ利活用による「売上増加」効果



出典:DX白書2023(独立行政法人情報処理推進機構)

資料編・・・なぜデジタル化が必要か④

図表2-6 業種別のDXの取組状況



出典：DX白書2023(独立行政法人情報処理推進機構)

資料編・・・推進施策①

新・・・新規事業 **検**・・・実施に向け検討
拡・・・一部新規及び事業の拡充

(1) デジタルファーストのサービス向上

- 拡** ① オンライン申請の拡充
 - ・マイナポータル「ぴったりサービス」によるマイナンバーカードを利用する手続きも含めたオンライン申請を拡充。
- 新** ② 戸籍・住民票・税証明のオンライン申請の開始
 - ・来庁せずに各種証明書を受け取れるようマイナンバーカードを利用して、オンラインで申請・決済を可能とする。
- ③ スマート窓口の推進
 - ・各種届出を一括して取り扱うことで、市民が「待たない」「書かない」「動かない」窓口の推進。

(2) マイナンバーカードの普及促進と利活用

- ④ マイナンバーカード交付
 - ・申請受付や交付事務に係る体制強化を継続し、マイナンバーカードの更なる取得率向上を図る。
- 拡** ⑤ マイナポイント申込手続きサポート
 - ・マイナポイント申込期限の延長により、引き続き、本庁と6支所にサポート窓口を設置。 (R5.9.30終了)

(3) デジタル活用によるコミュニケーションの強化

- 拡** ⑥ LINEによる情報発信・市民通報、各種イベント予約
 - ・市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大。



→ P.12
参照

資料編・・・推進施策②

(4)行政の高度化・効率化

新 ⑦電子入札の実施

→ P.09
参照

- ・ 応札者の利便性の向上を図り、また、コロナ禍や災害時にあっても入札を継続するため、電子入札システムの運用を開始。 ※R5.7月～ 10月末で50件の入札案件を実施

⑧ICT活用による業務効率化

→ P.10
参照

- ・ 全庁的なBPR（業務の最適化を図るシステムの内製化）の取り組みを強化。
- ・ RPA（パソコン上の自動処理）、AI-OCR（紙からのデータ起こし）、音声自動文字起こしシステムを活用し、業務効率化を図る。

⑨災害対策のデジタル化

→ P.10
参照

新

- ・ 災害情報などを一元的に管理・収集する災害対策オペレーションシステムを運用。
 - ・ 新たに設置する市独自雨量計や既存水位計等とデータ連携することで、突発的豪雨にも対応可能となる「河川水位予測システム」を導入。
- 令和元年台風19号の対応を契機に、罹災証明の申請から発行までシステム化。

新 ⑩議会答弁検討システムの運用・ビジネス化

→ P.10
参照

- ・ 本市が開発に携わり新たに稼働する専用システムを活用し、議会答弁の作成・検討業務の効率化、ペーパーレス化を推進する。
- 本市が開発に携わった議会答弁検討システム「答べんりんく」が全国販売。 ※R5.4月

新 ⑪システムの標準化とガバメントクラウドへの移行

→ P.10
参照

- ・ 自治体DX推進のため、住民記録、税、福祉などの業務システムを国仕様に標準化し、R8年ガバメントクラウド（国データ基盤）で運用できるよう準備を進める。

(5)情報セキュリティの確保

⑫セキュリティ強靱化対策

- ・ 市が扱う情報を安全に通信する仕組みを運用し、情報セキュリティ体制に万全を期す。

資料編・・・推進施策③

(6) 新たなコミュニティと共生社会の形成

- 拡** ⑬電子町内会の活動促進
- ・町内会活動において電子メールやウェブサイト等のICTツールを活用して会員まで送付するなど、情報伝達の電子化の取組を促進。

- 新** ⑭デジタルクラブの立ち上げ支援
- ・高齢者同士が学習センターで自主的にスマホの操作などを学び合うデジタルクラブの立ち上げを支援。

→ P.14
参照

- ⑮高齢者の見守りの推進
- ・認知症の方の身元確認ツールを活用し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを支援。

- 検** ⑯公共交通のDX推進による利便性向上
- ・キャッシュレス決済手段の導入拡大や機能拡充を進めて利用者の利便性向上を図るとともに、マイナンバーカードとの連携を検討。

- ⑰公共施設予約システムの運用
- ・キャッシュレス決済に対応した公共施設予約システムを運用する。

(7) 医療のデジタル化と健康づくり

- ⑱マイナンバーカードの保険証利用登録支援

- ⑲オンライン診療の普及

資料編・・・推進施策④

⑳ デジタルを活用した医療連携、健康づくり

- ・救急車10台に12誘導心電図伝送装置を配備し、リアルタイムに心電図を病院と共有して救急患者の救命率向上を図る。
- 新** ・映像伝送システムLive119の運用を開始し、より正確な状況をリアルタイムに通報者と消防で共有する。
- ・ふくしま健民アプリを活用した個人の健康づくりの取組が市内18地区の地域貢献に繋がる「健康づくりで競争（共創）チャレンジ」を引き続き実施。

(8) 子育て支援、教育のデジタル化

拡 ㉑ 保育所・幼稚園・小中学校における子ども見守りの推進

- ・保育所などによる送迎バスへの安全装置の設置、登園管理システム等の導入を支援し、子どもの安心・安全対策を強化。

㉒ 福島型オンライン授業の充実

- ・児童生徒1人1台の端末を全ての教科、多くの授業で活用し、情報活用能力の育成を図る。

**新** ㉓ デジタル教科書の全校導入

- ・小学校5年生以上に算数科、中学校全学年に数学科デジタル教科書を導入。

㉔ 新入学児童家庭Wi-Fi環境整備の支援

- ・新小学校1年生等の家庭内インターネット環境整備費用を補助。

新 ㉕ 学校図書館のICT化

- ・市立学校の学校図書館の電子化と学校間や市立図書館と連携するシステムを整備し、1人1台タブレット端末を活用して、児童生徒ひとり1人の読書活動や家庭学習の質向上を支援。



㉖ 電子図書館の運用

- 市民のライフスタイルに合わせた利用ができるよう電子図書館を運用。

資料編・・・推進施策⑤

(9) デジタルを活用した賑わいの創出

⑳ デジタルスタンプラリーの開催

- ・ デジタルスタンプラリーを開催し、各施設のにぎわい創出と販売促進、デジタルデバイスの普及促進を図る。
※ふくしま花回廊デジタルラリー (R5.3/18~6/30)、福島広域デジタルラリー (R5.7/15~10/31)

新 ㉑ デジタルエンターテインメントの導入

- ・ こむこむ館にプロジェクションマッピングを活用したデジタルコンテンツを導入し、最新のデジタル技術をいつでも遊びながら学べる場を提供。

拡 ㉒ ももりんシェアサイクルの運営

- ・ 自転車の増台やサイクルポートの増設など、サービスを拡充して利便性を向上し、さらなる利用促進を図る。

(10) デジタルを活用した農業や商業の振興

拡 ㉓ スマート農業の推進

- ・ 先進的な取組などの情報を発信し、導入を働きかけるなど、本市農業における普及推進を図る。また、本市で実証実験を行う経費の一部を補助。※補助率1/2 最大10万円

㉔ デジタルマッチングによる農作業補助者の確保

- ・ 農業者と農業で働きたい人を1日単位で結びつける「デイワーク」アプリを活用して、農作業補助者を確保。

資料編・・・推進施策⑥

⑳ eコマースの推進、電子決済の普及促進

※eコマース：電子商取引のこと。WEBサイト上で物品を販売するオンラインショップやソフトウェアなどデジタルコンテンツのオンライン販売等。

新 ㉓ デジタルクーポンの導入

・専用アプリ【福デジくん】を活用したデジタルクーポン事業を実施し、市民生活の利便性を高めるデジタル化を推進する。

→ P.12
参照

(11) デジタル関連事業者の集積とこれを活かした産業活動の活性化

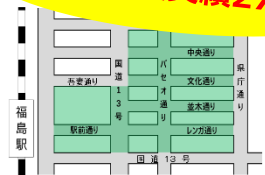
新 ㉔ 創業ゾーンにおけるクリエイティブ産業の集積

・街なかの空き店舗をリノベーションする創業者を支援し、デジタル関連事業者やクリエイターなど都市型創造産業の交流人口拡大を期す、「創業ゾーン」の形成を目指す。

今年度
終了

対象者	補助率	補助上限
クリエイティブ産業	2/3以内	2,000千円
各種産業	1/2以内	

令和5年度実績27件!!



新 ㉕ ポストコロナ対応デジタル化等支援

・ポストコロナに向けたデジタル化や創業支援など、事業者の新たな取組を支援。

(補助対象：デジタル広告制作費、LAN回線工事費用など)

→ P.11
参照

支援内容	
対象経費	委託料・工事費等
補助率	2/3 (上限30万円)

㉖ リモートワーク・ワーケーションの環境整備

(市) シェアオフィス、コワーキング及びミーティングルームを備えた新たな働き方に対応したビジネス環境「クリエイティブビジネスサロン」を運営。

(企) コネクト大町、コワーキングラボ Fukushima-BASE、土湯ベース など。

→ P.11
参照

新 ㉗ デジタル専門学校開校

・デジタル・クリエイティブ人材を育成し、産業の活性化を推進。

資料編・・・推進施策⑦

(12) 市民総ぐるみのデジタル化

③⑧ふくしまデジタル推進協議会の運営

- ・令和4年7月11日設立
- ・行政、経済、教育、医療福祉、地域、高齢者、デジタル関係企業など各分野の代表参加（総勢25名）
- ・市全体のデジタル化への方向性共有
- ・全市的デジタル化と **新** 先導的プロジェクトの推進
- ・各分野の推進者を選定し、トップのバックアップのもと各分野の取組推進。

→ P.07
参照

**新** ③⑨デジタル推進セミナーの開催

- ・中小企業・団体等のデジタル化の機運を高めるためのフォーラムを開催。※令和5年11月24日(金)開催

(13) デジタル人材の育成・確保

④⑩市職員「情報枠」設置・外部デジタル人材の活用等

新

- ・一般行政職の採用試験で情報処理技術者試験等の有資格者を対象にした「情報枠」設置。
- ・総務省「地域活性化起業人制度」を活用し、民間企業のデジタル人材を受け入れ。
- ・庁内各課のICT推進員を対象にRPA活用のためのプログラミング研修実施。

新

④⑪福島市デジタル人材バンクの設置

- ・市内中小企業や団体の抱える課題をデジタルの力で解決する「デジタル人材バンク」を設置。

→ P.13
参照

新

④⑫シルバー人材センターICT班の支援

- ・研修等を通じ、ICT班の技術向上等を支援。

資料編・・・推進施策⑧

(14) 市民相互のサポート・学びあい

- 新** ④③高齢者等スマートフォン利活用支援講座の実施
- ・デジタル活用に不慣れな高齢者等に対し、携帯会社のスタッフが講師、学生等がサポーターとなり、スマートフォン入門・活用講座や出前講座等を市内全域で開催。

→ P.14
参照

- 新** ④④ふくしまデジタルサポートデスクの設置
- ・デジタルに関することならどんなことでも気軽に相談可能な窓口を設置。
 - ・令和5年度は4月10日より相談開始。
 - ・受付時間：各回30分、1日5名
- ①9：00②9：40③10：20④11：00⑤11：40
※毎週水曜日はシルバー人材センターICT班が担当。

→ P.14
参照

開設場所	開設曜日
市役所1階	毎週月・水曜日
アオウゼ	毎週金曜日

- 新** ④⑤シニアICTサポーターの育成
- ・高齢者が困った時に近くで相談できるシニアICTサポーターの育成講座を開催。（2日間コース×5回）
- ※本講座を受講し、シニアICTサポーターとして登録した方は、スマートフォン利活用支援講座のサポーターとして活動（有償ボランティア）。

→ P.14
参照

- 新** ④⑥デジタルクラブの立ち上げ支援【再掲】
- ・学習センターでデジタル化について学びあうデジタルクラブの立ち上げを支援。

→ P.14
参照

- 新** ④⑦子ども達と高齢者の世代間デジタル交流の推進
- ・オンライン教育で上達が著しい孫世代の子どもたち（小学生）に先生になってもらい、高齢者との世代間交流を促しながらデジタル化を浸透させる取組を進める。

→ P.14
参照